
流れる血

じかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
流れる血

【Nコード】
N2354W

【作者名】
じかん

【あらすじ】
飛び込み自殺に遭遇した後の出来事とは……。自サイトにも掲載しています。

彼が電車からホームに降りた時に、電車の急ブレーキの音と女性の悲鳴が響いた。

何だろうか、と思っていたら、降りた反対のホームで、何かがあったようだ。目をや

ると口を手で隠している女性の他に、皆それぞれに驚いている様子だった。彼も御多分

に洩れずその中に入った。近くで話し声が聞えたので、分った事だが、どうやら電車に

飛び込みがあったらしい。別の声が云う、初めて見たよ、私もだよなどと、思い思いに

口になっている。ホームも騒がしくなったので、明日から長期連休なのに厭な気持ちにな

ったままで駅を出て、近くの食堂で食事を摂り、アパートに帰った。お風呂から出て、パソコンを立ち上げメールのチェックなどをしてから、動画サイト

にアクセスした。すると、先ほどの飛び込み自殺の動画がアップされていて、首にスー

ムインした動画があったが、当然ながら悲惨だった。別に意識をせずに見ていたら、そ

の首の主の目と目が合ったような気がしたが、気のせいと大して気にもしないで、他の

動画を見てから、ベッドに潜り込んだ。

深夜に寒気を感じて目を覚ますと、常夜灯のほんのりとした灯りの中に、彼を見下ろ

している男の首があった。口から血らしきものを流しながら、彼の口へとたらたらと流

れ込んでいる。驚いて跳ね起きて、灯りを点け、口を拭うも何もな

かった。急いで洗面

台に行き、何度も口をすすぎ念入りにハミガキをした。

とても気持ちが悪くなって起きていたが、疲れの為か、少し横になつたらそのまま眠

りに入った。そして、今度は寝苦しさで目を覚ました。するとまた、首が灯りの中で上

から彼を見ていた。動こうとしたが金縛りなのか、動けず仕舞いで、身体は仰向けの状

態だ。目だけは動かす事が出来たが、首を見る事しか出来なかった。その間中也口から

血を流して、彼の口へと線を描いていた。彼はごぼごぼとむせ返りながら、次第に精神

が乱れ始めてきて、首は少しずつ彼の顔に近づいて来たが、なす術ない状態で、そし

て、彼の顔の数センチ前まで首が近づいた時に遂に、彼の精神は崩壊した。

数日後、連休が終わったのに無断欠勤をしているので、心配になった彼の会社の上司

と同僚、それから管理人がやって来た。ドアを開けると、むっとした臭気に3人とも躊

躇したが、このままでは済まされないのので、同僚が部屋に向かって声を掛けたが、何の

返答もない。灯りを点けようとスイッチを弄つても灯りは点かないので、仕方なしに同

僚がまず声を掛けながら入り、上司と管理人が後に続いた。すると彼は暗闇の中で、座りながら首を見て惚けている。3人は

ぎよつとなつたが、

近づいてよく見ると粘土細工だった。声を掛けても、身体を揺すつても何の反応もなく

て、ただひたすら、首を見ているだけだった。

入院を余儀無くされた彼の病室では、首だけの男の顔が笑いながら、口から血を流していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2354w/>

流れる血

2011年10月9日14時55分発行